

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>		活動室の他に、学習室、調理室も備えている。
	2	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>		児童2.5人に対して1名の指導員を配置している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		<input type="radio"/>	手すりが無い。スロープが無い。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>		ミーティングを行い、意見交換をしている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>		保護者と連絡を取りあい、出来る限りのニーズに応えた業務改善を行っている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>		ホームページに公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		<input type="radio"/>	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>		職員研修に参加している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>		臨床心理士とのASISTにより支援計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	<input type="radio"/>		キッズボンドグループで標準テンプレートがあり、それを使用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>		職員間で相談しながら決めている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>		運動療育を基本にしているが、個々に合わせた活動を見直し実施している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	<input type="radio"/>		平日と学校休業日では支援内容を変えて有効的に活動している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>		個別活動、集団活動を組み合わせ計画を立て、変更があれば作成しなおしている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	<input type="radio"/>		受け入れ前ミーティングは必ず行い確認し合っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		<input type="radio"/>	送迎で遅くなったりする場合があります、その日のうちに出来ない事もあるので、翌日に回している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	<input type="radio"/>		その日のうちに記録し、職員間で共有し次回の支援に役立てている。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		半年に一回モニタリングを行い、必要であれば前倒しで実施。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○		製作、食育、お出かけを中心に、目的をもって支援をしている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		コロナ渦で担当者会議が電話やFAXでの聞き取りになっている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		学校から、親に聞いてくださいと言われることが多い。その日の様子は出来る限り聞くようにはしている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		現在必要としている児童がいない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		今後は情報共有をしっかりとしていきたい
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		まだ移行した子がいないので分からない
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		zoomなども活用し、研修に参加している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		コロナ渦で難しいが今後はしていきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		今後、参加していくようにする。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		送迎時に様子を伝え、共通理解を持っている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		日々の連絡を通してレスパイトケアを行っているが、まだ十分ではない。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に説明を行い、利用開始後も質問があればその都度説明を行っている
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		相談があれば、その都度連絡を取り合い話し合っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		必要ないという保護者もおられるので、保護者同士の連携については不十分

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情があれば、職員間でも共有し速やかに対応を取っている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		キッズbond通信を毎月発行し配布、InstagramやFacebookを更新している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○		書類は鍵付き書庫で保管。SNSは保護者に同意を得た上で顔を隠したり、利用者のみが見れるようにしている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		視覚的なものも利用している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	地域交流は出来ていないので、今後はしていきたい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		書類で周知しているが不十分なところもあるので改善していく
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		定期的に避難訓練を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		研修のテーマとして取り上げている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		契約時に説明を行い、了承を得ている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	現在利用の児童には当てはまらないが、今後そういった児童がいた場合には、保護者と情報共有し、対応していきたい
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		事業所内で共有している